

熊本北高校代表2名
第4回アジア・太平洋水サミット
開会宣言・両陛下との懇談会



図1 第4回アジア・太平洋水サミットの開会を宣言する様子



図2 生徒作成の啓発動画

4月23日(土)に「第4回アジア・太平洋水サミット」が開幕しました。開会式では、本校理数科3年の梅崎さんと普通科3年の片山さんが英語で開会宣言を行いました。

2人は、高校1年生の時から、「ユース水フォーラムくまもと」の学習会に

参加し、高校生同士で水について語り合うワークショップに参加し続けていました。

両陛下との懇談では、水の大切さを伝える動画を披露し、お言葉をかけていただくという貴重な経験をすることができました。

第4回アジア・太平洋水サミット 代表生徒インタビュー

今回は、開会宣言を行った理数科3年生の梅崎さんと普通科3年の片山さんのインタビューを紹介します。



熊本北高校の発表者

きっかけは

1年生の頃から、水フォーラムの学習会に参加していて、水の良いところや現状について伝えるための動画を作成していました。

そのことがきっかけとなり、大会1週間前に開会宣言の打診がありました。英語の原稿を手直ししながら、短い時間で準備を進めました。

セッションでは、水問題に若い人も関心を持って欲しいと伝えました。

懇談会について

両陛下との懇談会では、開会宣言や動画で苦勞した点をお尋ねいただきました。「ワークショップで学んだことを伝える方法について悩みましたが、アレンジせずに事実をそのまま伝えるという工夫をしました。」とお話しました。

また熊本地震での被害についても気にしてくださり、お言葉をかけていただきました。

後輩へ一言

経験してきたことや考えたことを、思いを持って話すことで、多くの人に伝わると感じました。

環境問題に関係する活動をしたいと、最初はあまり深く考えずに学習会に参加しました。

興味を持ったものに参加してみるということは大切で、思いがけず大きな成果も得られました。

継続して活動してきたことが、開会宣言の推薦に繋がったと思います。

新年度のご挨拶 — SSH第Ⅲ期研究開発開始 —

新年度を迎え、本校SSH研究部も新体制となり、第Ⅲ期1年目を迎えることが出来ました。

これまで第Ⅰ期から第Ⅱ期と11年間に渡る北高SSHアクティブプランで培ってきた、課題研究の指導方法や支援体制についても研究を重ね、さらなる深化を目指していきたいと考えています。

学校教育は、現在転換期を迎えています。熊本北高校は、SSH研究指定校として、データサイエンスやアントレプレナーシップ、国際性等についても学びを深め、未来を切り拓いていける人材の育成とそのノウハウの普及に努めていきます。

SSH NEWSでは生徒たちの日々の活動や活躍

に加え、研究開発や実践、課題や工夫について校内外の先生方に向けて引き続き発信していく予定です。ご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。

